



全国初出場の海星学院女子バスケット部監督

中島 洋介さん(48)



道予選優勝でインターハイ切符。「初出場はもつと感動すると思っただけです。ただ、責任を果たしてほっとした。」と苦難の13年に声を絞り出した。

大阪・池田市出身。実業団の東芝や常葉学園(静岡)でアシスタントコーチを務めた。その後、バスケットを離れてトラックの運転手も経験した。転機は2001年(平

成13年)、大阪教育大学付属池田小の児童殺傷事件に遭遇、あらためて自分の教育観や人生、家族と向き合った。「やっぱり子どもにバスケットを教えよう」。03年、縁もゆかりもない室蘭に入った。

「室蘭の高校をバスケットでインターハイに」と誓った。周囲の「できるわけないだろう」という失笑を尻目に、ゼロからコツコツ、チームをつくり上げた。心が折れそうになっても「諦めた」とはしない。支援してくれた人を裏切れない」と気力を振り絞った。

父の故郷・京都でのインターハイ出場が決まった試合後、泣き崩れるような感動がないまま、苦業をともにした妻子夫人に全国出場を報告した。電話越しの涙に張り詰めた緊張がほぐれた。「夢が終わったわけじゃない。まだ北海道の2位」と目が光った。

(高橋昭博)